

青少年いわて

2019年11月発行 No.82

「第6回いわて親子フェスティバルin アイーナ」を開催しました



今年で6回目を迎えた「いわて親子フェスティバル」は、初参加の団体を含め昨年を上回る30のプログラムに、延べ5,000人を超える来場者で、アイーナは大にぎわいとなりました。今回は初参加のファブテラスいわてでは、輪ゴムレーザーガン作りが人気で、用意した部品が足りなくなるほどでした。同じく岩手山青少年交流の家の出展コーナーには自作の缶バッジ作りに順番待ちができ、岩手県工業技術センターの「センサーで遊ぼう」では、科学の不思議に子ども達は夢中になっていました。

4階と7階では、ミニライブやパフォーマンスが次々と披露され、人気の「パプリカ」の曲に合わせ、子ども達が楽しく踊っていました。

また、盛岡スコール高校の先生と生徒さんにオムライスやおにぎり作りを教えてもらい、親子で美味しく食べることができました。遊びリンピックや遊ぼうコーナー、作ろうコーナーなどの企画は、5月から高校生を含む40人の学生、社会人のボランティアが案を出し、事前の準備や当日の運営に当たってくれたもので、多くの子ども達の笑顔が頑張る力となったようです。80人ほどの当日ボランティアも加わり、一生懸命に子ども達の対応をしてくれました。

「アイーナで一日中遊ぼう」というテーマ通りの家族、親子のふれあいと笑顔あふれる楽しい一日となりました。
(当日の様子はP4～5を参照ください)

いわて親子フェスティバル	P1・4~5
県民会議表彰	P2
復興バザー	P2
みたけがはらまつり	P2
青少年を非行・被害から守る県民大会	P3
第1回相談事例検討会	P3

わたしの主張岩手県大会	P6
青少年育成セミナー	P7
情報メディア対応サポーター育成セミナー	P7
平井ふみ子新会長就任挨拶	P8
告知	P8

岩手県青少年育成県民会議表彰

日時 令和元年 6 月 12 日（水） 13:30 ～ 16:00 ／会場 802 会議室（アイーナ 8F）

6 月 12 日（水）、公益社団法人岩手県青少年育成県民会議通常総会の席上で、県内各地域で青少年の健全育成の優れた活動を展開している方々に対する「岩手県青少年育成県民会議表彰」を行いました。

この表彰では、県内各地域で、青少年の育成活動、支援活動、自主活動等に永年取組まれ、多大な功績のあった方々を表彰するもので、青少年育成活動団体 2 団体、青少年育成支援団体 1 団体、青少年育成指導者 2 名の表彰を行いました。



平井副会長（当時）から賞状を受け取る受賞団体・受賞者（右）と受賞スピーチをする及川晋二氏（左）



表彰団体・表彰者一覧

区 分		氏 名（所 属）	市町村
団 体	青少年育成活動団体	救済念仏剣舞保存会	岩泉町
		日本宇宙少年団 水沢 Z 分団	奥州市
	青少年育成支援団体	西和賀商工会女性部	西和賀町
個 人	青少年育成指導者	及川 晋二（日本ボーイスカウト岩手連盟）	奥州市
		村上 保（何でもやろう会）	盛岡市

第 19 回復興バザー

日時 令和元年 6 月 15 日（土）

10:00 ～ 16:00

会場 県民プラザ（アイーナ 4F）

6 月 15 日（土）、アイーナの 4 階にて、恒例の復興バザーが開催されました。青少年活動交流センターから 10 人のボランティアが、衣料品や雑貨を売るブースを担当しました。商品の陳列や、価格の設定をし、来場者に積極的に声掛けをして、初めてとは思えない対応をしていました。売上金の一部、110,229 円は岩手県災害義援金募集委員会に寄付しました。



バザー会場の様子（左）とボランティアの接客の様子（右）



みたけがはらまつり

日時 令和元年 9 月 1 日（日）

10:00 ～ 16:00

会場 青少年会館隣接地

「第 28 回観武ヶ原まつり 2019」が、9 月 1 日（日）盛岡市みたけの岩手県青少年会館隣接地で開催されました。晴天のなか約 600 名が来場し、県民会議の手作りコーナーでは「オリジナルシールを作ろう」と「世界に一つだけのけん玉」を出店し、ボランティアの丁寧な指導により希望者があふれ閉店まで大盛況でした。ボランティアは他のコーナーへも積極的に参加し、地域子ども達と交流しました。



会場でシールやけん玉づくりを楽しむ子ども達



青少年を非行・被害から守る県民大会

日時 令和元年 7 月 11 日（木）13:00 ～ 16:00 / 会場 小田島組☆ほ～る（アイーナ 7F）

7 月 11 日（木）「2019 年度 青少年を非行・被害から守る県民大会」をいわて県民情報交流センター（アイーナ）7 階小田島組☆ほ～るで、県内の関係機関や団体など約 460 名の参加を得て開催しました。



県警音楽隊による演奏・啓発

意見発表では、昨年度「わたしの主張岩手県大会」最優秀賞の小野寺千里（おのでら ちさと）さんは、「挑戦し続ける勇氣」と題し発表、また作文発表では“社会を明るくする運動”作文コンテスト岩手県推進委員会委員長賞、全国連合小学校長会会長賞の守屋優花（もりや ゆうか）さんは、「どんな人も独りにしない社会をつくる」と題し、また、日本BBS連盟会長賞、岩手県推進委員会事務局長賞の高橋陽菜（たかはし ひな）さんは、「優しい心のつながりを」と題し発表しました。

アトラクションでは、県警音楽隊が演奏やスマートフォンの正しい使い方を交えた寸劇を披露しました。



主張発表をする
小野寺千里さん



作文発表をする
守屋優花さん



作文発表をする
高橋陽菜さん



講師の和田慎市氏
（日本体育大学浜松日
体中・高等学校講師）

講演では、教職歴 36 年、進学校、職業校、新設校、教育困難校、定時制など 11 校もの異なる学校に勤務し、多種多様な生徒たちと接し、生徒指導や学校危機管理対応の実践経験が豊富であり、その体験をまとめ出版するなど各方面からも注目されている和田慎市（わだ しんいち）氏から「大人も子どももすばらしい人生を送るために」と題し、お話をいただきました。

大会の最後に岩手県青年団体協議会の松田恵美子会長から、青少年の非行・被害防止のための決議提案があり、参加者からの拍手をもって採択され、閉会しました。

令和元年度第 1 回青少年相談事例検討会

青少年活動交流センター「子ども虐待防止セミナー」

日時 令和元年 8 月 2 日（金）13:30 ～ 16:00 / 会場 812 研修室（アイーナ 8F）



講師の實方由佳氏
（岩手県立大学社会福祉学部准教授）

近年、大きな社会問題となっている「子ども虐待」をテーマとしましたが、講師の保健医療機関在職中の事例を交えた具体的で分かりやすい説明が、参加者から高い評価を得て、充実したセミナーになりました。

始めに、子どもの権利や虐待の定義、児童相談所の虐待対応件数が急増していることなど、基本的事項について説明があった後、講師がこれまで実際に向き合った事例を盛り込みながら、講話が進められました。

「子ども虐待を見極める」として、身体的外傷のチェックポイントについて、実際の写真を見ながらの説明や事例に基づく説明があり、保育士、幼稚園・小学校教諭等、日々子ども達と関わっている参加者には、とても参考になったものと思われます。また、虐待の種別について、平成 20 年度には身体的虐待が約 40%あったものが、平成 29 年度には約 25%まで減少し、一方、心理的虐待が 54%と半数を超えるなど、その形態が複雑化している状況が示され、虐待対応の難しさが改めて実感されました。次に「子ども虐待対応システム」として、通告制度や一時保護等について具体的な説明があり、最後に「コミュニティを育てる・私たちにできること」として、虐待は複合的病理現象であり、全ての領域に精通した専門家はいないとともに、虐待を行う親には「虐待」という意識がないことが多いこと、そのため出生前から親子と関わる市町村の対応が重要であるほか、保育所・幼稚園・学校はもちろん、地域の眼も欠かせず、それらがネットワークで対応することが必要との提言がありました。そして、最後の「誰か」が担うのではなく、「誰もが」担うべきとの言葉は、参加者一人ひとりの胸に響いたものと思われます。



会場の様子

3F ワクワク工作タイム



4F 復興バザー



5F キッズカーニバル



センサーで遊ぼう！



オリジナル缶バッチを作ろう！



わくわくドキドキ バルーンアート



0～1歳の第1子を育てている家族交流会



記憶力でお絵描き



めんこいアナのおはなし隊



遊びリンピック ドキドキタイムレース



世界に一つだけのけん玉



自分だけのオリジナルシールをつくろう！



宇宙をつくろう！キラキラワールド



自分も海の仲間になろう～マイアクアリウム～



やっておぼえておぼえ退治～ペットボトルボウリング～



ハロウィンかぼちゃの的当てゲーム



アイーナでお絵かき大会！



捕ったどー！！めざせ漁師さん！！



もりの子どもたちの成長見守り隊



盛岡医療福祉専門学校音楽サークルもりっく



県大マンドリンアンサンブル colore



県大アカペラサークル JellyBeans



4F&7F

14 (Mon)
て親子
テイバル
アイーナ

6F



段ボール迷路 2019



ボードゲーム



世界ってどんな? 地球ってどんな???



くるくる定規 みんなでやってみた



ハロウィンフォトブース



遊びりんピック どうぶつさん! ごはんの時間だよ



遊びりんピック パタパタ・ゆらゆらポイントゲーム



きみもふわとろオムライスにトライ!



自分で作っちゃおう! あ・い・う・え・おにぎり



7F

ぴかぴかスノードームを作ろう!



覚えて広めて! 折り紙ワールド!



アイーナ探偵 Vol.2 "シャーロックをさがせ"



もりのう子どもひろば



8F

大きなカードで "しんけいすいじゃく"



ミニ機関車



こどもとみるおんがくげき



くぼたまさと工作シヨウ。工作教室



CJS



岩井彦樹



キャラクターがやってくる!



第21回わたしの主張岩手県大会

日時 令和元年9月18日(水) 12:45～16:30 / 会場 小田島組☆ほ～る (アイーナ 7F)

「第21回わたしの主張岩手県大会」が9月18日(水)に盛岡市小田島組☆ほ～るにて開催されました。

今年度は、各地区大会から選出された代表者18名が未来に向けての夢や希望、日常生活の中で感じていることや考えたことなど、それぞれの思いを発表しました。

「自由にはばたける社会へ」という題目で発表した宮古市立第一中学校3年の小笠原凜さんが大会の最優秀賞に選ばれ、優秀賞には2人、優良賞には3人の生徒が選ばれました。

アトラクションでは、盛岡市立城西中学校3年生による合唱が披露されました。

なお、本大会の最優秀賞受賞者の小笠原凜さんについては、北海道・東北ブロック審査会に「少年の主張全国大会(12月8日(日)東京都で開催)」の候補者として、国立青少年教育振興機構に推薦しております。

入賞者一覧

最優秀賞 宮古市立第一中学校3年	小笠原 凜 さん
優秀賞 一戸町立一戸中学校3年	松尾 帆夏 さん
優秀賞 大船渡市立大船渡中学校3年	小林 友香 さん
優良賞 八幡平市立西根中学校3年	小黑 紗彩 さん
優良賞 紫波町立紫波第三中学校3年	浦田 唯花 さん
優良賞 釜石市立唐丹中学校3年	木村 雪月 さん



発表の様子



主張発表する小笠原凜さん

県大会最優秀賞 「自由にはばたける社会へ」

宮古市立第一中学校3年 小笠原 凜 (おがさわら りん) さん



「夢を叶えるために、大学へ行きたい。」

私が何度も、練習している言葉です。高校生になったら、必ず父親に言う。母と離婚してしまった父親に。私はそう心に決めています。

私が小学生の頃、両親は離婚をしました。様々な事情が重なり、母は私と兄のために離婚を決意したのです。

しかし、母一人で私たちを育てていくということは、想像以上に大変なことだったと思います。母は元々体が弱いのに、私たちのために仕事も家事も頑張ってくれています。そんな忙しい生活の中でも、母は、私が学校に行くときには、必ず「いってらっしゃい」と笑顔で送り出してくれます。

母は、私が「シングルマザーの家庭の子」と偏見の目で見られるのではないかと、いつも心配しています。そんな心配がいらなくらい、誰からも認められる人になりたい。私はそんな思いで、学習や生徒会活動に全力で取り組んでいます。

そんな私たち親子には、私の目標である大学進学に向けて、越えなければいけない壁があります。

「高校を卒業したら、就職すればいいよ。」

久しぶりに会った父の何気ない一言に、目の前が真っ暗になりました。自分の進路を考えたとき、この父の言葉がいつも頭をよぎります。父からすれば、「大学進学」という私の進路選択はあまり良いものではないかもしれない。反対されてしまうかもしれない。そう思うと、とても不安で、なかなか伝えられずにいました。しかし、私の夢をかなえるためには、父の支えがどうしても必要です。私の夢にかける思いを、父にも理解してもらいたい。そう強く思っています。

そんな思いを抱えた私のすぐそばで、

「塾に行かなきゃ。めんどくさい。」

「適当な高校に入って、将来はとりあえず働けばいいかなあ。」

よく友達はこんな言葉を零します。その言葉に、いつも複雑な気持ちがぐるぐると巡ります。塾に行かせてもらえる、好きな学校を選択できる。どれほど幸せなことでしょうか

進路学習で夢を見ても、家に帰れば現実に立ち返る。「なんでこんなに苦しい思いをしなければならないんだろう。精一杯頑張っているのに。理不尽だ。」といういらだちもあります。でも、「迷惑はかけたくない、仕方ない。」とすべて飲み込んで、折り合いをつける。きっと、そんな葛藤を抱えているのは、私だけではないはずです。

みなさんは知っていますか、今や18歳以下の子どもたちの十人に一人が「一人親家庭」で育っていることを。私が抱えている悩みは、決して特別ではないのです。そして、「一人親家庭」の子どもの大学進学率は、一般家庭より3割も低いのです。

好きなものが手に入る。自由な進路が選択できると言われる世の中ですが、本当にそうでしょうか。

私は、置かれた環境によって、夢をあきらめなければならないような、この世の中を変えていきたい。私は大学に進学することができたら、法律や政治を学び、将来は窮屈な思いをする子どもをなくしていけるような仕事をしたいと考えています。

「自由に未来へ羽ばたける」のは、当たり前ではないこと。それができない子どもが、たくさんいること。その現状を知ってください。そしてその上で、自分がどう生きたいのか、改めて考えてみませんか。自分で考え、道を選び、自分の意志でその道を進む。それが、社会を変える第一歩となるはずです。

自由にはばたける社会へ今踏み出しましょう。

青少年育成セミナー（研修会及び情報交換会）

講演要旨「子どもの虐待と理解の対応」

日時 令和元年 6 月 3 日（月）13:00 ～ 15:30 ／会場 団体活動室 3（アイーナ 6F）

虐待は、当事者である子どもや保護者からの相談や訴えがない。通報があっても、軽いものから重症なものまで範囲が広い。それを判断するキーワードとして、「マルトリートメント（不適切な養育）」という認識が必要となる。「マルトリートメント」には、虐待、ネグレクト、心理的に不適切な関わりが含まれる。

虐待やネグレクトへの対応には、保護者の養育能力、経験不足を補うサポート体制として、市町村、児童相談所などの支援に加え、地域全体で継続的に支える仕組み作りが必要である。

今後の取り組みとして、市町村児童家庭相談を専門職化するとともに、要保護児童対策地域協議会の取り組みで、地域での多機関間連携を強めていく。また、子どもへの児童虐待防止教育をし、子ども自身が SOS を出せるようにする。そして、家庭訪問支援により、子どもと共に日常生活を改善し、将来の生活の質の向上を図る。

支援の原則は、子どもの生命と健康な成長を最優先とし、「子どもの最善の利益」とは何かを常に考えることである。そして、支援は継続し、子どもの成長に伴う問題の変化、養育者の成長、家庭環境の激変などに対応していかなければならない。家族が地域に根を下ろし、地域で生活していくということが、家族の力を高めることに繋がり、子どもと家族は地域で支えていくことが原則である。



当日の様子



講師の三上邦彦氏
(岩手県立大学社会福祉学部教授)



当日の様子

情報メディア対応サポーター育成セミナー

日時 令和元年 7 月 20 日（土）13:00 ～ 17:00 ／会場 団体活動室 2（アイーナ 6F）

7 月 20 日（土）にアイーナ 6 階の団体活動室 2 で「情報メディア対応サポーター育成セミナー 子ども達をネットトラブルから守るためにできること」を開催しました。子ども達のインターネットトラブルについて助言や支援、啓発活動が行えるサポーターを育成することを目的とし、NPO 法人企業教育研究会の市野敬介氏を講師に、講演やタブレットの操作体験、ドラマを基にしたペアでの意見交換等を行い、ネットトラブルに対する指導のポイントや必要な知識の習得を行いました。

講義の最中は講師の質問にペアで考える時間が何度かあり、各グループで様々な意見交換を行いました。

ドラマ視聴では、メッセージ交換アプリを使用して情報を発信するために起こるトラブルに関するドラマや過激な動画配信を行ったことで生じるトラブルに関するドラマを視聴しました。各ドラマで、ワークシートを使い、トラブルの起こる原因やトラブルに対する助言方法等を話し合いました。また、家庭でスマホのルールを作るドラマの視聴も行い、実際にルールを作る時のポイントを学びました。

タブレット端末の利用体験では、架空請求や個人情報の漏えいといったトラブルを体験したり、フィルタリングを実際に設定しました。

受講者からは、「知らなかったことを知ることができ、とても有意義だった。」や「どのような現実が（ネット世界で）あるのか、これからも子供へ大人へ発信して欲しいと思いました。」等の感想がありました。



講師の市野敬介氏
(NPO 法人企業教育研究会)



当日の様子



当日の様子

平井ふみ子新会長就任挨拶

このたび会長に選任された平井ふみ子です。何分にも微力ではございますが、佐藤前会長を始め皆様が築いてこられた県民会議の精神を引き継ぎ、更に発展させるため、できる限りの力を尽くして参りますので、皆様方には変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様ご承知のとおり、社会参加や生活適応に困難を抱えている子ども・若者の増加、そして「格差」や「貧困」の問題などが、憂慮すべき状況になっております。

そのような中、去る九月十八日に開催した「わたしの主張岩手県大会」では、困難に負けず、家族や周囲の人々とのつながりを大事にしながら、社会に広く目を向け、未来を信じて歩もうとする子どもたちの力強いメッセージを受け取ることができました。

これは教育の力です。学校はもとより地域の持つ暖かい力、そして家庭がもつ文化、何より子ども自身がもつ伸びようとする力、会場にいた大人は感動の渦に巻きこまれました。

本会では、人間としての成長のすべての原点は「家庭」にあるとの認識のもと、毎月第三日曜日を「いわて家庭の日」に制定し、家族・親子のふれあいを啓発する県民運動に取り組んでいるところでございます。アイーナが親子の笑顔であふれた十月十四日開催の「いわて親子フェスティバル」では、高校生を含む百名を超える青年ボランティアがその企画、運営に当たりました。

何れの事業におきましても、大きな希望の光を見ることが出来た思いがいたします。

今年、新たな時代、令和を迎えました。

「すべての子ども・若者が希望を持つことができる地域社会の実現」は県民の変わらぬ願いであります。青少年の健やかな成長のため、これまでの県民会議の歩みを大切にしながら精一杯努めて参ります。会員各位、関係諸団体の皆様に積極的なご提言をお願いし、就任にあたっての挨拶といたします。



岩手県青少年育成県民会議
会長 平井 ふみ子

正会員・協賛企業募集

県民会議では新規会員及び協賛企業を募集しています。次世代を担う青少年の健全な育成を共に目指しませんか。

1. 会 員 会員には、県内各地で開催するイベントやシンポジウム等にご案内するほか、青少年に関する各種資料をお送りします。
2. 協賛企業 県民会議HPバナー広告、広報紙「青少年いわて」への広告、県民会議封筒への広告を有償で掲載させていただきます。



区 分		年会費
正会員	個 人	3千円
	団 体(法人)	6千円
賛助会員	個 人	一口12千円以上
	団 体(法人)	一口25千円以上



相談時間(電話・面談)

9:00~16:00
(月・木のみ 9:00~20:00)

メール受付時間(24時間)

✉ nayami@aiina.jp

QRコード



いい日 どんな日 家庭の日
家族そろって食事

毎月第3日曜日は「いわて家庭の日」

岩手県青少年育成県民会議では、青少年を守り育てる運動として『いわて家庭の日』を主唱しています。

推進協力 岩手県・岩手県教育委員会・岩手県警察本部